

テーマ：日々の信仰生活にあって、“罪の恐ろしさ”を知っている者に相応しい歩みをしているか？

「罪は私たちの魂の内にも残っており、決していなくなることはありません。使徒は二度にわたって『私の内に住む罪です』と述べました。もし、罪が時々訪れる訪問客であるなら、立ち入らせず、対処することもできるかもしれませんが。しかし、魂が罪の家なのです。あなたが何をしようとして、そこにいつも罪はいます。誰かといるときも、一人のときも、夜も昼も、罪は共にいるのです。…ああ、どれほどの人がこの決していなくなることを、生まれつきの敵について考えていないことでしょうか。クリスチャンだと告白する者の用心深さは、どれほど実際の罪の危険性に見合ったものでないことでしょうか。』(ジョン・オーウェン)

※ローマ 6:6

「私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。」

※ローマ 7:18-20

「私は、私のうち、すなわち、私の肉のうちに善が住んでいないのを知っています。私には善をしたいという願いがいつもあるのに、それを実行することがないからです。私は、自分でしたいと思う善を行わないで、かえって、したくない悪を行っています。もし私が自分でしたくないことをしているのであれば、それを行っているのは、もはや私ではなくて、私のうちに住む罪です。」

1. 現実の問題： _____ (ヘブル 3:12)

※ルカ 21:8

「イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大ぜい現れ、『私がそれだ』とか『時は近づいた』とか言います。そんな人々のあとについて行ってはなりません。」

a) “悪い不信仰の心”

※民数記 13:27-28, 30-31

「彼らはモーセに告げて言った。「私たちは、あなたがお遣わしになった地に行きました。そこにはまことに乳と蜜が流れています。そしてこれがそのくだものです。しかし、その地に住む民は力強く、その町々は城壁を持ち、非常に大きく、そのうえ、私たちはそこでアナクの子孫を見ました。…そのとき、カレブがモーセの前で、民を静めて言った。「私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」しかし、彼といっしょに上って行った者たちは言った。「私たちはあの民のところに攻め上れない。あの民は私たちより強いから。」」

※民数記 14:11

「主はモーセに仰せられた。「この民はいつまでわたしを侮めるのか。わたしがこの民の間で行ったすべてのしるしにもかかわらず、いつまでわたしを信じないのか。」

b) “生ける神から離れる”

※ヨハネ 10:27-29

「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。」

※1 ヨハネ 2:19

「彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし私たちの仲間であったのなら、私たちといっしょにとどまっていたことでしょう。しかし、そうなのは、彼らがみな私たちの仲間でなかったことが明らかにされるためなのです。」

※マタイ 7:21-23

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」

2. 罪への対抗策： _____ (ヘブル 3:13)

※ヘブル 10:24-25

「また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」

※2 テモテ 4:7-8a

「私は勇敢に戦い、走るべき道りを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。…」

※2 テモテ 4:8b

「…私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。」